

道路管理費・作業の軽減と景観へ

カバープランツの植え付け



農村景観の向上や草刈作業の軽減を目的に、6月29日、伊賀市炊村の田んぼのあぜにセンチピードグラス（野芝の改良種）を試験的にはりつけました。

センチピードグラスは夏から秋にかけ縦横に茎を伸ばしますが、停滞水には弱く水田まで侵入することが無いため、芝が定着するとほとんどあぜ草刈りの必要がなくなります。

今回の植え付けは、市松敷きという敷き方で行いました。水稻育苗箱で育てられたセンチピードグラスともみからマットを交互に敷き詰め、市松模様仕上げました。



今後、雑草抜きや水やりなどを行うと2年ほどで全体を覆います。

こどもサミットで環境を学ぶ

こども森林環境教室!!

6月21日、阿山B&G海洋センター艇庫周辺で『こども森林環境教室!!』を開催しました。

この教室は、北海道洞爺湖サミットが7月に開催されるにあたり、環境をテーマに子どもたちに森林の大切さを気づいてもらおうと阿山公民館が企画したものです。

子どもたちは、艇庫周辺で自分の好きな花や虫などを撮影し、その後、木製の板に写真を貼り付け、木の実や枝・葉っぱ・温度計などで飾り付けをしました。木製フレームづくりを終えた子どもたちは「作って楽しかった」と話してくれました。

また、三重森林管理署職員の指導で地球温暖化防止に役立つ森林教室や環境クイズも行い、参加した32人の子どもたちは自然とのふれあいを感じ、自然を大切にすることを学びました。



上野東・西小が風力発電所に!?

新エネルギー教室

次世代を担う小学生を対象に『新エネルギー教室』を7月8日、上野東小学校と上野西小学校で開催しました。

「新エネルギー勉強会」では、講師の若手漫才師がクイズ形式で勉強会を実施しました。

ワークショップでは、グループになって児童全員が風車の羽根をデザインしました。そして、デザインした羽根を風車に貼り付け、風車にうちわで風を送ることでたくさんの電気をつくり、発電状況の観察をしました。



講師からは「羽根の形と発電量の関係」「エネルギーを作る大変さ」などの説明もありました。

この日、児童たちは身の回りにある新エネルギーやニュースなどで取り上げられている地球温暖化などについて、より身近に感じ取ることができました。

「県・伊賀・津」合同消防訓練

新長野トンネルで消防訓練

7月2日、新長野トンネルの開通に伴い、伊賀市上阿波のトンネル入り口付近で消防訓練を行いました。

この訓練は、トンネル内で車両事故が起きたときに、関係機関による迅速な行動、被害の軽減に向けた的確な連携体制をとることを目的に、三重県警察本部・三重県伊賀建設事務所・伊賀市消防本部・津市消防本部の65人が参加しました。

新長野トンネル内で3台の車両による多重事故、さらに事故車からガソリンが漏れ、火災が発生するという想定で訓練が始まり、参加した人たちは、きびきびとした動作で訓練をしました。

この消防訓練を通じて、有事の際に関係機関の連携を密にする体制を築くことができたようです。





地産地消！農業まつり

●●● 第11回農業ふれあいまつり ●●●

7月21日、予野の伊賀市農業公園ふれあい広場で『第11回農業ふれあいまつり』が開催されました。地元農畜産物の展示販売や各種演奏・芸能、動物ふれあい広場、竹遊びなど盛りだくさんで多くの参加者でにぎわいました。

子どもたちは、予野老人クラブが作った竹の水鉄砲で遊んだり、モクモク手づくりファームからやってきた羊を触って楽しみました。

舞台と広場では、予野区のカラオケ発表会やひまわり作業所のひまわり太鼓が披露されると会場の皆さんからは盛大な拍手が起きました。

この日は、日差しが強く暑い天気となりましたが、子どもからお年寄りまで農業を通じて交流を深めることができましたようです。

青山で老若男女が盛り上がる

●●● 第24回青山夏まつり ●●●

7月19日、青山公民館周辺で『第24回青山夏まつり』が開催されました。青山公民館の中では「こどもつみ木ひろば」が行われました。このつみ木は伊賀市商工会工業部会が作成し、いろいろなイベントに貸出をしています。今回は3～4千個用意され、子どもたちは、1人で積み上げたり、友達と協力して作ったりと思い思いに楽しんでいました。

青山ホール前では、各種団体のバザーや出店、イベントがあり、市内などで活動しているグループのヒップホップダンスが披露されると、観客から「上手やね」などという声も聞かれました。

また、青山太鼓保存会による勇壮な太鼓の演奏には、観客からのアンコールもあり、軽快な演奏には手拍子も送られました。ほかにも、ソーラン踊りやバンドライブ・盆踊り・花火などが行われ、多数の来場者が訪れました。



ハートをつなごう！！

●●● ひゅーまんフェスタ 2008 ●●●

「ひと・あい・へいわ」をテーマに『ひゅーまんフェスタ 2008』を7月21日、県立ゆめドームうえので開催しました。

午後からのレディオキューブFM三重公開生放送では、今岡市長が「ひゅーまんフェスタを通して、人権・平和・福祉・環境・多文化共生について考えるきっかけにしてほしいです」と呼びかけました。

NPO法人ユニバーサルデザイン同夢の大型紙芝居は、「ハチドリの一とせずく」の詩を取り入れたもので「わたしたちにできることはなにか」を問いかけて発信していこうというものです。紙芝居のあと、青山小学校の児童による「わたしにできること」が読み上げられました。

また、会場には子どもたちによるぬりえの作品や、参加者による折り鶴コーナーなどがあり、小さな子どもから大人までそれぞれが「ひと・あい・へいわ」への思いを込めて作品や折り鶴を完成させました。

最後は、みんなで伊賀市平和メッセージソング「ハートをつなごう」を歌い、平和への願いを発信しました。

